

信濃國地名集

明治六年の写し。上中二冊 長野県立図書館蔵（丸山文庫）。西尾市岩瀬文庫にもあり、未見だが項目立てが一致するので同じ文書であろう。成立時期については、同文庫の解説によれば、書中最新の年記は上巻「開善寺」の条にある「文化の頃」。本文にはルビがあるが、括弧付きのルビは翻刻者による。

信濃國地名集 中之卷

筑摩真砂集書栞

信濃地名集古寺記

水内郡 野尻弁天 高井郡 保科観音

同郡 久来（米）路橋 水内郡 善光寺 戸隠

同郡 葛山古城

小県郡 國分寺 飯山城之圖

佐久郡 小諸城之圖 牧之島 古城

浅間布引観音

伊奈郡 飯田城圖

(大略)

● 水内郡

新安村 飯繩大明神之神主

御朱印百石 仁科 玄蕃

戸隠山の續き飯綱山の里宮此(新)あら安村なり此新安

と申所むかし天照大神天の岩戸に隠れましませし時

八百万神岩戸の前にて神樂を奏し給ふ天照大神

岩戸を少し開き給ひと(常)やみこ闇(新)の夜となりしも又はれく

となりぬ其時手力雄命天の岩戸を引かつきてタチカラヲ

此所に来り給ひし時あら心安しと宣給ひて右の所よりの

今の戸隠山に入給ひし也依て今此所をあら安といふ(新)

(略)

● 水内郡

戸隠村

神代ノ卷ニ曰 天照神 天ノ磐戸ニ入玉フ時ニ世界ヤミノ

夜トナル此時八百万神岩戸の前ニて是ヲカナシミテ

神樂ヲ奏ス其時天照大神天ノ磐戸ヲ少シ開らき

玉フ忽チ世界晴渡ル神達ヨロコヒ玉エ手力雄命

タチカラフ、

天ノ磐戸ヲ引拂(不明)□テ信濃國戸隠山に入玉フ因テ

戸隠ト云フ

戸隠 日ノ命ノ社 則中院ニ有リ神主

ヒノミコト

上野村栗田大膳

御朱印 戸隠山千石之内 弍百石ヲ納

栗田氏ハ先祖社家にあらず

川中嶋ノ郷士今ノ栗田村に有リし栗田栄寿の跡なり

栗田民部少輔とて元野武士ノ末葉也今ハ社家也

中院 天台宗 戸隠山本坊 勸修院

御朱印 千石 同弍百石 栗田大膳

同 四十六坊江配當 坊中 奥の院 中院ニテ

四十六坊なり皆御朱印千石之内配當免有之

戸隠山本坊格式宜敷守護不入とて千石一山之

支配等取仕置皆本坊の取計ひにて外領主の支配ヲ

請す松代ハ御朱印頂戴之取次斗也

○奥院 中院ヨリ壺里登ル(比丘尼) ひくに石是ハ女人禁制也

主て深山にて賢山なり

九頭龍大権現之宮

大黒岩の元に
御供所あり

此九頭龍大権現ハ正躰九ノ頭の龍なり灵検なり
今に生てまします 御供壹度に壹升をたきて

(奥社附近の図は略す・図中の説明文は以下の通り)

中院ヨリ登ル道

御供所

大黒岩に作りつケ

観音堂あり

九頭龍大権現ノ御宮岩窟より作りカケテ有

戸隠表山ノツヅキ

残らすめしあかるといふ

(維茂)

戸隠山にて古しへ平の稚持將軍鬼女を退治し給ふト

いふ説是誠の鬼女にあらず其頃南都奈良の内裏

に仕へ奉りし官女に紅葉といふ者あり此官女禁裏の

(嫉妬)

御后となりしか至てしつとの心深くして後にハ主上

も持てあくみ給ひ此紅葉といふ官女を大内を出して

此信濃国にて御あてがひ下され嶋流し同様にて

南都の内裏を出されし當国戸隠近き所なりて

幼術(妖)を行ひあまつさへたんく悪業共手に付て

信濃越後海道え出てハ色くくの切とう強とう(盗)

をいたさせおのれも出て幼術(妖)をつかい数多の人を

殺し金銀財宝を奪ひとらせ後にハあまり悪業を

なすゆへに後にハ越後より信濃路にかよふ者も足を

とどむる程の支なり依て此事都へ聞へ稚持將軍(維茂)

を當國に下しもみぢ打とるべしとのみことのり

をうけて稚持將軍戸隠にて彼のもみちといふ(維茂)

官女を打取給ひしなり誠の鬼にあらず其時稚持(維茂)

將軍當國に下り給ひし時御願に依て今の上田領

別所北向観音世音を安置せられしと縁起にありなに

とそ戸隠に下りもみち退治せんとの御ねがひなりと云フ

戸隠山にて鬼女を退治せしといふハ誠の鬼女にあらず

南都のみやこの頃の官女もみぢか事なり

●又今鬼無里といふ所に西ノ京東ノ京内裏屋敷と

いふあり此所に関白屋(屋敷)しき大臣屋(屋敷)しきなどとてあり

是都より此所に京をうつさんなどといふせつあやまり也(説)

是ハ彼の官女もみちよふ術を行ひて悪黨を(妖術)

かたらひてむほんをなしおのれ此所に大内の如く

御所を建んとて此所に住しといふ説あり是正説

成べし此近邊鬼の岩や(岩屋) 矢柄矢の竹あり

稚持將軍の矢を立られしなどいふせつとるに(説)

足らず

註 長野県立図書館に丸山文庫のマイクロフィルム
がある。文庫の本体は長野県立歴史館。フィルム

番号 290-36-2。